

# ☆くしろ市議会だより

News from  
Kushiro City  
Assembly

2018年  
8月  
No.57

発行 釧路市議会  
編集 議会広報特別委員会  
釧路市黒金町7丁目5番地(議事事務局)  
TEL 31-4581  
FAX 23-7679  
メールアドレス  
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp  
URL ホームページ  
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html  
フェイスブックページ  
http://www.facebook.com/kushiroshigikai



次回の9月定例会は、**9月12日(水)午前10時**から開会の予定です。

ぜひ、傍聴に  
お越しください!

22日の本会議採決では、30年度一般会計および特別会計補正予算など18件の議案のほか、「北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた推薦に関する意見書」など12件の意見書を原案どおり可決、また、市長問責決議を賛成少数で否決し、閉会しました(4面参照)。

(文責 議会広報特別委員長 松尾和仁)

6月13日(水)に始まった釧路市議会第2回6月定例会は、6月22日(金)に10日間の会期を終え閉会しました。

開会日の冒頭、市長より「JR北海道単独で維持困難な線区への対応」「乳幼児等医療費助成制度の見直し」「市立釧路総合病院新棟建設の延期」などについて市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、16人の議員が登壇し、子育て支援、観光施策、福祉施策、防災対策、教育行政、市立釧路総合病院の新棟建設などに関する質問があり、多岐にわたり議論が交わされました。また各委員会においては、補正予算のほかそれぞれの所管事項についての審査を行いました(2・3面参照)。

## ● 6月定例会の概要

## 議会日程

- 4/13 議会広報特別委員会
- 6/7 議会運営委員会
- 6/8 石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
- 6月定例会(会期10日間)——
- 6/13 本会議  
市政報告  
提案説明  
質疑・一般質問
- 6/14,15 本会議  
質疑・一般質問
- 6/18~21 常任委員会審査
- 6/20 都心部市街地整備特別委員会
- 6/21 議会広報特別委員会
- 6/22 委員会採決  
本会議  
委員長報告  
討論  
採決

## 災害に強いまちづくりを 目指して、「釧路市議会災害 害対応指針」を策定しま した。

釧路市は、これまで釧路沖地震(平成5年)をはじめとする地震、津波など、幾度となく大規模自然災害に見舞われてきました。

また近年は、洪水、内水氾濫、暴風波浪などによる風水害も多く、これら気象災害に対する備えもしなければなりません。

災害時には、議会と市が災害関連情報をはじめとする情報共有はもとより、協力・連携し、迅速かつ的確な対応により、1日でも早い復興への取り組みを進める必要があります。

そうした、さまざまな災害に立ち向かうべく、私たち釧路市議会は、「釧路市議会災害対応指針」を策定しました。安心・安全、災害に強いまちづくりに向け、ともに取り組んでまいります。

釧路市議会議長 渡辺慶蔵  
※指針は市議会ホームページでご覧いただけます。また、10月開催予定の議会報告会においても説明させていただきます(下段参照)。

## 議会報告会を開催します

「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指して毎年実施している議会報告会の開催日が決まりました。今年度は、10月23日(火)から10月26日(金)の日程で、市内4会場で開催します。参加された皆様からご意見をいただくとともに、その趣旨を市議会に反映できるよう努めます。日時等の詳細は左記のとおりですので、皆様のご参加をお待ちしております。【入場無料】



昨年の議会報告会の様子

## 政務活動費の公開

政務活動費は、市政に関する議員の調査研究等の活動のために交付されています。(1人月額4万円) 市議会では、政務活動費に係る収支報告書や出納簿、領収書等を公開しており、市議会ホームページや市役所1階の市政情報コーナーで閲覧できます。

開催日	時間	会場
10/23(火)	10:30~12:00	釧路市中央図書館(7階多目的ホール)
10/24(水)	18:30~20:00	コア鳥取
10/25(木)	18:30~20:00	コアかがやき
10/26(金)	18:30~20:00	音別町コミュニティセンター

会派名	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
自民クラブ(7)	3,360,000	2,032,405	1,327,595	60.49
市民連合議員団(6)	2,880,000	2,251,360	628,640	78.17
日本共産党議員団(4)	1,920,000	1,621,607	298,393	84.46
市政進クラブ(4)	1,920,000	1,347,866	572,134	70.20
公明党議員団(4)	1,920,000	1,394,388	525,612	72.62
新創クラブ(3)	1,440,000	1,219,755	220,245	84.71
合計	13,440,000	9,867,381	3,572,619	73.42

※( )内は会派議員数

### 会派略称説明

自民ク 自民クラブ  
市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団  
公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団  
新創ク 新創クラブ



市議会ホームページで発言通告一覧をご覧いただけます。



6月13日(水)～15日(金) | 今定例会では16名の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

6月13日(水)

「入学準備金の支給時期を入学前に」 市民連合 遼議員

問 就学援助制度の入学準備金の支給時期を入学前に早めることで、さらなる子育て支援につなげることができると考えるが、見解を聞きたい。

答 同準備金の入学前支給は、転出などによる返還等の課題があり実施を見送ってきたが、他都市の例を研究し、二重受給等の課題が一定程度解決できる見通しとなったほか、道教委からの働きかけもあつたことから、制服などの準備が必要な中学生に対しては、来年3月の支給実施に向け検討していきたい。

「未就学児の医療費無料化に向けた抱負は」 新創ク 大越 拓也議員

問 未就学児の医療費の無償化については、これまでも会派の政策要望で挙げてきたほか、道内の中核都市と比較してその水準に達していないため、定例会においても、さらなる拡大の実施を求めてきたところである。今回、制度拡充に向け具休の準備に入ることだが、見直しの内容や今後の予定について聞きたい。

答 子育て世帯の経済的負担軽減や安心感の醸成の一助となるよう、未就学児の医療費無料化を平成31年4月実施に向け、しっかりと進めていく。

「なり手不足である町内会役員の負担軽減を」 自民ク 伊東 尚悟議員

問 市は、防災や福祉など多くの施策の推進に町内会の協力を求めているが、それが負担となり、加入率の低下や役員となり手不足につながっていると考えられる。この実態を把握し、町内会の負担軽減に向け取り組むべきではないか。

答 町内会役員のなり手不足は、価値観の多様化により地域のつながりが希薄になるなど、さまざまな要因が考えられるが、連合町内会とも相談しながら実態の把握に努め、町内会の存続に向け全庁を挙げて取り組んでいきたい。

「LINE@の活用で『子ども・子育て』の情報発信を」 公明 河合 初恵議員

問 現在、庁内各課で行っている子育て支援事業を1課で集約し、LINE@を活用して情報発信することで、市政への関心も高まると考えるが見解を聞きたい。

答 子育てに関する情報発信の充実は重要と考えている。今後は他都市の先進事例なども参考に、子育て世代の方々のライフスタイルやスマートフォンの普及なども考慮し、ニーズに見合った有効な情報発信のあり方について考えていきたい。

「避難困難地域からの避難について」 市政進 大澤 恵介議員

問 避難困難地域からの避難は、自動車利用とすることを「釧路市津波避難計画」において明記し、町内会等と協議した上で、実際に車による訓練を行うべきと考えられるが、市の見解を聞きたい。

答 避難困難地域からの避難については、自動車の使用も必要であると認識している。引き続き、地域住民と話し合いをしながら、実情に応じた避難方法や訓練等を、今後、検討していきたい。

用語解説

- ※1 LINE@ ライン アウト スマートフォンの通話アプリLINEを活用した情報発信方法。ビジネス目的で複数の相手にメッセージや情報を送信できる。
※2 ヘルプマーク 内部障がいや妊娠初期の方などが、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマーク。
※3 ヘルプカード ヘルプマークを掲載したカードで、援助や配慮を必要とする方が携帯し、困った時に周りに提示して手助けをお願いするために使う。

6月14日(木)

「中学校の制服価格について保護者の負担軽減を」 共産党 工藤 正志議員

問 保護者の負担を軽減するため、中学校の制服等の価格を調査すべきと考える。また、札幌市で行われている「制服リサイクル市」の実施について市の見解を聞きたい。

答 市立中学校の指定の制服は、平均的な価格が4万円程度であり、ジャージ、上靴などすべて揃えると約6万円になると把握している。また、札幌市の取り組み事例を釧路市PTA連合会に情報提供するなど、保護者の負担軽減に向け、今後とも十分に意を用いていくべきと考えている。

「ヘルプマーク・ヘルプカードの市民周知の方法は」 市民連合 宮田 団議員

問 ヘルプマークやヘルプカードの市民への周知について、どのように取り組んでいくのか聞きたい。

答 これまでも市ホームページやフェイスブックへの掲載、障がい福祉団体をはじめ、医療機関や金融機関、公共交通機関などへの個別通知を行ってきた。今後、「ふれあい広場」や「まちなかにぎわい広場」の会場で周知を行うほか、さまざまな機会を活用し、市民の思いやりのある行動につながる環境整備に取り組んでいきたい。

「釧路市設魚揚場事業会計の収支見込みは」 新創ク 森 豊議員

問 本年度は釧路市設魚揚場事業会計の健全化計画の最終年度となるが、予定どおり資金不足は解消される見込みなのか。また、平成31年度以降、他会計へ移行するが、今後の収支見込みを示してほしい。

答 今年度も主要収入の算定基礎となる水揚げ金額が確保できる予定であり、資金不足についてはすべて解消できると考えている。しかし、引き続き、一般会計からの繰り入れが一定程度必要なことから、特別会計へ移行するとも、支出の見直しを図りたい。

「松浦地区複合公共施設整備事業の今後のスケジュールは」 自民ク 三木 均議員

問 (仮称)松浦地区複合公共施設整備事業について、児童館関係者や地域住民は一日も早い開館を願っているが、今後、供用に向けてのスケジュールはどのようになるのか。

答 本事業は、松浦児童館、川北会館、鉄北みどり会館の3施設を集約化・多機能化することで、地域住民のコミュニティ形成と児童の健全育成、多世代の交流促進を目的としている。平成30年度に実施設計、31年度に建築工事に着手し、32年度中の供用を目指すこととしている。

「北園1号通の内水氾濫に対する抜本的対策を」 公明 松橋 尚文議員

問 北園1号通は、近年、気象の状況により、明渠排水からのオーバーフローによる内水氾濫が起る頻度が、多くなってきた。抜本的な対策が必要ではないか。

答 北園1号通の排水路の流末施設は、道路事業で埋設した排水管であり、管径は下水道計画を若干下回るものの、勾配については上回るため、下水道計画と同等の流下能力を有するものと考えている。今後は、適宜、排水施設の巡回・点検・清掃を行い、適切な排水機能の維持に努めたい。

「人口減少問題への対策は」 市政進 松永 証明議員

問 自治体の存続に関わる人口減少に対しては、強い危機感と責任感を持って対応しなければならぬと考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか見解を聞きたい。

答 人口減少に歯止めをかけるためには、経済を活性化させ、若者の雇用の場を確保することが重要であることから、本年4月にスタートした「釧路市まちづくり基本構想」において、「経済活性化」「人材の育成」「都市機能向上」の3つを重点戦略とし、各種施策に取り組んでいく。



# 委員会審査

3 常任委・2 特別委

今定例会では3常任委員会と2特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

**総務文教常任委員会**  
金安 潤子委員長

「小学校での運動会開催」「暖かい時期に見直しを」

「小学校の運動会は、6月中旬までに多く開催されているが、まだ寒い時期であり、競技する子どもたちの体調管理やけがの予防、応援する保護者のためにも、暖かい時期に変更することができないか。」との質問がありました。

教育長は、「教育委員会では、これまでも校長会の場で開催時期の変更について検討しており、本年度は3校が前年度よりも1週遅く開催している。学校の年間スケジュールの関係で大きく時期を変えることは難しいが、子どもたちの健康のためにも、寒さが緩和する6月下旬頃の開催について、改めて校長会に申し入れをした」と答えました。

**経済建設常任委員会**  
山口 光信委員長

「ビジネスサポートセンター」「踏み込んだサポートを」

「ビジネスサポートセンターは、8月20日にオープン記念シンポジウムを開催し、翌21日からオープン・相談開始となっているが、同センターの体制に対し、市として踏み込んだサポートを行うべきと考えるがどうか。」との質問がありました。

理事者は、「同センターオープン後は、相談対応が相当数あると想定しており、センター長の意向を聞いた上で専門的な職員の配置など、体制づくりを図りたい。また、市や商工会議所、金融機関などで構成するビジネスサポート協議会でもバックアップ体制をとり、地域の総力を挙げてサポートしていきたい。」と答えました。

**民生福祉常任委員会**  
松橋 尚文委員長

「修学資金の増額」「市立高等看護学院授業料に合わせ増額を」

「釧路市立高等看護学院の授業料および修学資金の改定に係る議案が提案されており、内容は授業料が月額1万5千円から3万円に、修学資金が2万1千円から3万円にそれぞれ増額するものである。授業料の増額による学生の負担を軽減するため、修学資金の改定額を授業料増額分に合わせて、月額3万6千円にするよう検討してほしい。」との質問がありました。

市長は、「修学資金の貸与額については、市内の医療機関や道内他都市の奨学金の状況を見て提案した。こうした状況を理解いただいた中で、提言を踏まえながら、相談していきたい。」と答えました。

**石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会**  
森 豊委員長

「釧路コールマインの研修事業」「コロナに関わる積極的な情報収集を」

「産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転事業に関し、今般、コロンビア共和国の炭鉱技術者が初めて来釧するに当たり、受け入れ態勢に万全を期すため、同国に関する情報をさまざまな方向から収集すべきではないか。」との質問がありました。

理事者は、「今後、コロンビアの生活習慣や文化などの情報について、一般的なものだけではなく、市内に滞在するスペイン語に長けた方からも幅広く収集し、釧路コールマインとも共有していきたい。」と答えました。

**都心部市街地整備特別委員会**  
村上 和繁委員長

「(仮称)釧路都心部まちづくり計画の策定」「新たな検討組織のメンバーは」

「(仮称)釧路都心部まちづくり計画の策定に向けて、平成30年7月に設置される新たな検討組織のメンバーはどのような状況になっているか。」との質問がありました。

理事者は、「これまでの有識者検討部会に変わる新たな検討組織については、市が策定する計画づくり等の推進を目的として意見や助言を行うものであり、そのメンバーについては、交通計画・都市計画・都市設計の有識者3名と、北海道および市から数名の参加を調整中である。オプザーバーの参加についても現在検討中であるが、9月議会で詳細を報告したい。」と答えました。

# 本会議

6月13日(水)～15日(金)

質疑・一般質問

●6月15日(金)

**共産党**  
村上 和繁議員

「会計年度任用職員制度への移行に伴う見解は」

問 現在の市の嘱託職員の任期は最長10年であり、また臨時職員も、再度雇用する場合は6カ月の空白期間が必要とされているが、平成32年度から始まる会計年度任用職員制度でどのように変わるのか。

答 同制度への移行により、嘱託職員の雇用期間10年の上限はなくなる。また、臨時職員は、欠員が生じた場合のみの採用となり、現在、雇用されている臨時職員は、全て同制度に移行するため、任期の上限、および空白期間についても適用されないこととなる。

**自民党**  
草島 守之議員

「釧路本線の強みを生かした3事業の内容は」

問 「JR釧路本線維持活性化沿線協議会」で、同路線の強みを生かした利活用を探るため、「釧路本線利活用可能性調査事業」など3事業が決定されたとのことだが、その内容等について聞きたい。

答 同協議会では、釧路本線と連動した観光関連サービスの強化手法などについて調査・分析し、その利活用の方策を探る事業や、観光列車の運行に合わせ、ツアー参加者へのおもてなしに取り組む事業、気運醸成のためのフォーラムの実施を予定している。

**市政進**  
鶴岡 秀典議員

「釧路市再犯防止推進計画を策定すべきでは」

問 再犯防止推進法の中にある、「市町村における再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画」を策定すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答 同法において、「地方再犯防止推進計画」の策定は市町村の努力義務とされており、市としては、該当者の実態や実情を十分把握できていないなどの課題もあることから、国等の刑事司法関係機関との情報交換を行うとともに、北海道の計画策定の動向を注視していきたい。

**共産党**  
梅津 則行議員

「戦争体験者の話を映像と音声で残していくべき」

問 終戦から73年が経過し、戦争体験者や遺族が減っていく中、戦争体験を次の世代に伝えることを目的として「釧路空襲の体験者の話」を映像と音声で残す事業が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

答 釧路空襲の体験談などを次世代に語り継ぐことは重要と認識している。これまでも書籍としてまとめた経過があるが、映像や音声など、さまざまな形で、自主的、主体的に残し、後世に伝えることが大切と考えており、庁内関係課とも検討していきたい。

**共産党**  
松永 俊雄議員

「高山への鉄鋼スラグ搬入に伴う武佐川の汚染対策は」

問 ここの5年間で170万トンもの鉄鋼スラグが、道の許可を得て高山の宅地造成計画地に搬入されている。隣接している武佐川の水質汚染などが懸念されるが、市としてどのように対処するのか聞きたい。

答 武佐川は水質汚濁防止を図る必要性が高い公共用水域であることから、定期的に各種の水質調査を行っている。今後も、開発行為が許可権者である北海道とも情報を共有しながら、河川環境の安全を監視していきたい。

## 永年在職議員表彰

全国市議会議長会から次の議員が表彰され、6月定例会に先立ち、議長から表彰状が伝達されました。

◆議員在職20年以上

続 木 敏 博 議員  
戸 田 悟 議員

## 用語解説

### ※4 再犯防止推進法

正式名称：再犯の防止等の推進に関する法律。  
犯罪や非行をした人の再犯を防ぐための施策を推進することで、安全で安心して暮らせる社会の実現に寄与することを目的とする法律。



〈賛否の討論〉

市立釧路総合病院新棟建設に関する議案第51号・第63号・第64号について、これに関する市長への問責決議が提出されたことに伴い、それぞれ2会派が賛否の討論を行いました。

【議案第51号・第63号・第64号について】

反対討論

共産党 梅津 則行議員

市立病院新棟建設の実施設計をめぐり、市と業者とは大きな認識の違いがある。例えば、設計図の作成段階で市から追加変更が相次ぎ、経過について事実確認をしないと、市に起因する問題も大きい。また、調整率や建設単価など、市が指示した事柄にも不明な点があり、これらを審査するため要求した資料も、重要な部分が黒塗りされている状態である。さらには、相手側の合意がない中で録音により作成された会議録など、市からの一方的な報告や問題のある資料による審査しかできない状態では、議決するには至らない。よって反対する。

賛成討論

市民連合 佐藤 勝秋議員

市立病院新棟建設の実施設計の納品が、委託業者によつて期日までに果たされず、着工延期を余儀なくされたことは前代未聞の事態である。このまま建設を進めれば、オリンピックや災害復旧の影響による建設費の高騰は明らかで、信頼関係が損なわれた業者とは一大プロジェクトを進められないという市長の判断は当然であり、大いに評価できる。今後、市長が果たすべき責任は、病院が将来にわたつて担う機能をしっかりと盛り込んだ新たな新棟建設計画を作り上げ、完成に導くことである。市民や管内の皆さんの期待に応える病院となることを期待し賛成する。

【市長問責決議について】

市立病院新棟建設に関し、共産党議員団より「議会として市長の責任を問う」ための決議案が提出されました。この決議案に対し、反対あるいは賛成の立場から討論を行ったものです。

反対討論

新創ク 森 豊議員

市立病院新棟建設業務委託契約に関し、着工できない事態を招いた責任は、履行期限を守らなかったJV側にあると考える。市はこれまで、委員協議会などで着工の延期と契約解除に至る経過を明らかにし、今議会でも事実関係等を説明した上で、訴訟により客観性を持った解決を図ろうとしており、市民に対しても記者懇談会や各種会合、市政懇談会などでも説明をされている。市長においては、すべての世代が安心して暮らせるまちにするため、今一度しっかりと現状を受け止めて、市立病院の着工を進められることを願う。よつて問責決議に対して反対する。

賛成討論

共産党 村上 和繁議員

市立病院新棟建設の着工延期に際し、市長は責任は自分にあると発言したが、職を辞するどころか減給の申し出もない。また、市長が早い段階から事態を正確に把握していれば、破綻を未然に防ぐか、情報公開し、機敏な対応も可能であったはずである。こうした事態を招いた根本には、増改築を新棟建設に切り換え、十分な時間的保障もないまま進めた市長の判断ミスにある。また市長は、こうなるに至つた多くの疑問に対し、訴訟を理由にまともに答えようとせず、新たな不信を広げている。以上、市立病院建設着工延期の市長の責任について問責決議案に賛成する。

平成30年第2回6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(承認)となったもの (24件)

市長提出議案		議員提出議案	
予算	平成30年度一般会計補正予算 平成30年度動物園事業特別会計補正予算	条例	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 保健医療従事者修学資金貸与条例の一部を改正する条例
条例	職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	その他	火災予防条例の一部を改正する条例 財産取得の件
	介護保険条例の一部を改正する条例	専決処分	専決処分報告の件 (平成29年度一般会計補正予算)
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例 放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例		専決処分報告の件 (税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例)
議員提出議案		意見書	
北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた推薦に関する意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、内閣官房長官、文化庁長官)		根室海峡海域におけるロシア連邦トロール漁船の操業抑制に関する意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)	
旧優生保護法において実施された優生手術に対する補償等の早期解決を求める意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官)		非婚ひとり親に寡婦控除のみなし適用をする所得税法改正を求める意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)	
「北海道主要農作物等種子条例」の制定を求める意見書 (提出先：北海道知事)		日本年金機構の情報セキュリティー対策の見直しを求める意見書 (提出先：内閣総理大臣および厚生労働大臣)	
ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書 (提出先：内閣総理大臣ほか2大臣)		中標津町への(仮称)北海道立林業大学校設置に関する意見書 (提出先：北海道知事)	
地方財政の充実・強化を求める意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか5大臣、内閣官房長官)		平成30年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、北海道労働局長)	
ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣、内閣官房長官)		委員提出議案	
意見書	地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書 (提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全))・民生福祉常任委員会提出		

◎ 賛否が分かれたもの (7件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議員提出議案						
件名	会派名[( )内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(5)	共産党(4)	市政進(4)	公明(4)	新創ク(3)	審議結果
予算	平成30年度病院事業会計補正予算(議案第51号)	○	○	×	○	○	○	可決
	平成30年度病院事業会計補正予算(議案第63号)	○	○	×	○	○	○	可決
条例	税条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 市立高等看護学院条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
その他	訴えの提起の件(議案第64号)	○	○	×	○	○	○	可決
議員提出議案		議案						
件名	会派名[( )内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(5)	共産党(4)	市政進(4)	公明(4)	新創ク(3)	審議結果
決議	市長問責決議	×	×	○	×	×	×	否決

◎ 請願・陳情 (2件)

○採択 ×不採択

件名	会派名[( )内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(5)	共産党(4)	市政進(4)	公明(4)	新創ク(3)	審議結果
陳情	地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書の件	○	○	○	○	○	○	採択
	訪問介護における「生活援助」の提供回数の制限撤廃を求める意見書の件	×	○	○	×	×	×	不採択

※ 市民連合の議員数は6人ですが、渡辺議長が採決に加わっていないため5人としています。

◎ 委員会に提出された動議 (1件)

○賛成 ×反対

件名	会派名[( )内は議員数]	自民ク(1)	市民連合(2)	共産党(2)	市政進(1)	公明(1)*	新創ク(1)	審議結果
動議	市立釧路総合病院新棟建設の件について参考人の出席を求める動議(民生福祉常任委員会)	×	×	○	×	×	×	否決

\* 公明の委員数は2人ですが、松橋委員長が採決に加わっていないため1人としています。